

2024年3月25日

各 位

会社名 株式会社タカミヤ  
代表者名 代表取締役会長兼社長 高宮一雅  
(コード番号2445 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役兼常務執行役員  
経営戦略本部長 安田秀樹  
(TEL. 06-6375-3918)

## Takamiya Lab. East建設用地取得に関するお知らせ

当社は、本日、群馬県藤岡市篠塚の「藤岡インターチェンジ西産業団地内」B区画(55,766.87㎡)の土地を取得しましたことのお知らせします。関西地域で展開中のTakamiya Lab. Westに続き、当該土地において「Takamiya Lab. East」を開設いたします。当社プラットフォームのフラッグシップであるTakamiya Lab. Westでは、顧客にプラットフォームの魅力を最大限体感いただく施設として運営しております。当該施設では、仮設機材の最速入出庫や定点カメラによる顧客資産の品質管理の見える化をはじめ、画像解析・データ分析による安全・効率性の探求を実施しております。Takamiya Lab. Eastは、当社として初となる「Base機能」、「物流倉庫機能」、「製造機能」、「安全教習機能」と複数の機能を有した複合型施設として開設いたします。当社が提供するプラットフォームの顧客サービス拡充、業界への浸透、並びにプラットフォーム事業の基盤強化を図ることを目指します。

## 記

## 1. 取得の背景・目的

当社が推進するプラットフォーム事業のOPE-MANEの利用者が増加し、既存のBaseでは十分な供給体制を保つことが困難になっておりました。特に関東地域における需要は高く、今後増加を見込んでおります利用者の利便性、サービス品質向上に向け、拠点を新設することといたしました。

また、関東地域での効率的な製品流通ネットワークを構築し、納期短縮や運搬コストの低減など、総合的なサービス向上施策として、物流倉庫を併設した工場として開設することといたしました。

## (1) OPE-MANEの利便性向上

本件土地に新たに構築する施設では、周辺Baseから仮設機材の検収・整備を集約し、関東地域の各Baseへの機材供給拠点・ハブ機能の役割を果たします。一方、周辺のBaseにおきましては、顧客への機材供給を中心に行い、OPE-MANE利用者の増大、サービス利便性の向上に向けた体制を整えてまいります。

また、整備作業におきましては、積極的にAI、IoT、自動化の研究を行い、省エネ・省力化・少人化の実現に努めてまいります

## (2) 物流倉庫を併設する工場

当社主力製品となるIqシステムを中心に、最終工程を担う工場として開設、当社としては初めてとなる物流倉庫を併設した工場となります。メイン工場である群馬工場(桐生市)との連携により関東地域での効率的な製品流通ネットワークを構築し、納期短縮や運搬コストの低減など、総合的なサービス向上施策により、生産性・収益性の向上を進めてまいります。

(3) 「製造」「管理」「物流」三位一体の効果

同一敷地内に「製造」、「管理」、「物流」の各機能を統合することで、当社OPE-MANEを利用する顧客が所有する仮設機材のデリバリーから、整備点検修理に至るまで高い品質を維持する体制を整え、関東地域で展開する各Baseへの迅速な供給を実現し、OPE-MANE利用者への利便性を最大限高めます。

また、関東地域から、北信越地域への仮設機材物流の中継拠点としての役割を担います。

(4) 複合型安全体感教習施設

足場、建設業界に限らず、製造業などあらゆる業種に対して「安全衛生体感教育」を実施いたします。建設業界、足場業界中心の安全講習は、高所からの墜落・転落、飛来・落下物などの体感教育と施工実習が中心となりますが、「複合型安全体感教習施設」として、回転体巻込まれ危険体感、節操危険体感など、製造機能を有した複合施設ならではのユニークな安全体感教育を提供することを計画しており、業界の垣根を超えた安全を発信する施設を目指してまいります。

2. 取得の概要

- (1) 名称：藤岡インターチェンジ西産業団地
- (2) 所在地：群馬県藤岡市篠塚
- (3) 敷地面積：55,766.87㎡（約16,900坪）
- (4) 用途地域：工業専用地域
- (5) 取得価格：1,282百万円
- (6) 開設予定：2025年4月

3. 今期業績に与える影響

本件が当社の2024年3月期連結業績に与える影響は、軽微となります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上